

古域

第 42 号

= 発行者 =
茨城県立江戸崎総合高等学校
同窓会広報委員会
TEL 029-892-2103
= 印刷所 =
倉沢印刷株式会社

あいさつ



同窓会長
山岡 恒夫
江戸崎高等学校
(昭和43年度卒)

会員の皆様には、ますますご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。日頃からの、皆様方の同窓会に對しましてのご支援ご協力に心から感謝いたしております。

昨年、茨城県で開催された第七十四回国民体育大会馬術競技に本校から、野沢友梨有選手と尾野綺乃選手の二人が出場し、少年団体障害飛越競技で第四位入賞、そして、尾野選手は少年二段障害飛越競技では優勝という素晴らしい成績を収めました。

また国体のメイン会場に本校生徒が設置した飾り花の功績が認められて、草花専攻生

が茨城県知事より感謝状を授与されました。

江戸崎総合高等学校の生徒は、今年も素晴らしい足跡を残しました。

世界中の子どもたちに夢や喜びを与えてきたウォルト・ディズニ―は青年の頃、どこにでもあるような漫画好きの貧しいアニメーターでした。アパートを借りるお金もないので、勤めていた映画スタジオの、ネズミがはい回る倉庫に寝泊まりしていたほどの貧しい生活を送っていました。ディズニ―は仕事で大失敗をして、収入もなく、仲間にも裏切られ、彼は泣きながらひとり故郷に帰ります。

お金も、仲間も、会社も、将来の保証も、何もかも失った彼でしたが、夢だけは捨てませんでした。

彼は、自宅のガレージにこもり、苦しい生活の中で自分と友達になってくれたネズミが登場する作品を作ります。

そのネズミの名は、『ミッキーマウス』。冒険心が旺盛で、つまづいても明るく立ち直るミッキーマウスは、たちまち人々の心をとらえ、アメリカ中で人気者になりました。

ディズニ―はこれを機に、次々と自分の夢を実現させていきます。彼が挫折したときに夢を諦めていれば、東京ディズニ―ランドもできまませんでした。彼は言います。

「夢を見ることができたら、あなたはそれを実現できる。いつだって忘れないでほしい。何もかも一匹のネズミから始まったということを」。つらい時も夢を諦めなかったディズニ―は、私たちに夢を諦めないで追い求めることを教えてくれます。

小さなネズミ、ミッキーマウスがディズニ―の出発点だったように、私たちの夢も小さなことから実現していくのだと思います。

若い皆さんが、夢を持ち続けて歩んで行かれますことを心から願っております。

子年、東京オリンピック、パラリンピックが開催される本年、会員各位の、各方面での今後ますますのご活躍と、母校のご発展を祈念いたしましてご挨拶いたします。

菊地汪翠氏を偲ぶ

菊地汪翠（本名：菊地信勝）
書道家

旧江戸崎町で生まれ育つ
江戸崎高等学校（旧制農学校）
昭和十八年十二月卒業
元大日本書芸院審査会員



江戸崎総合高校玄関ロビー

汪翠氏の書は地元稲敷市内に数多く残されております。お気付きの皆さんも多いと思いますが、江戸崎総合高等学校玄関の壁に掲げられている校訓も汪翠氏の書です。

そして、江戸崎高等学校創立百周年記念碑が正門脇に建立されていますが、この書も



創立百周年記念碑

汪翠氏によるものです。

また、江戸崎八景という江戸崎地区八カ所の風景を謳った詩歌の石碑があります。そして、地域の小中高の校訓校歌記念碑等を多数奉仕され、半世紀以上に及ぶ地域書道文化振興に腐心されました。

令和元年十一月一日逝去
ご冥福をお祈り致します。

江戸崎八景石碑



①吹上の秋月②江崎山の晩鐘
③洲崎の晴嵐④医王山の暮雪
⑤浜河岸の帰帆⑥高田の落雁
⑦羅漢山の夕照⑧曳舟の夜雨

※江戸崎八景を巡る

自転車で石碑を巡れば素敵なサイクリングコースです。
ぜひ訪ねてみて下さい。

いあいさつ



校長 藤田 和文

同窓会の皆様には日頃より本校の教育活動に多大なるご支援をいただき誠にありがとうございます。この春、本校に赴任いたしました。本校は、「総合学科」ということで慣れない点もありつつ、今までになく新鮮な驚きを感じながらの日々です。

本校は、今年度十五年を迎える総合学科の高校であるとともに稲敷郡市に存在する唯一の県立高等学校として地域と共に歩み、地域に有為な人材を輩出し続ける責務を負っていると感じております。

伝統である農業系列では、本校で栽培しているシャインマスカットが、県GAP認証取得することができ、二〇二〇年オリンピック東京大会に向け、ベルギー王国のホストタウンとなっている茨城県とコラボしベルギー選手向けのメニューを考案、「GAP食材を使ったおもてなしコンテスト」に参加しました。

また、本県で開催された国体会場に本校生徒が栽培したビオラでマスコットキャラクター「いばラッキー」を装飾し大好評でした。このような活動を通して地域の皆様と関わりが持てることは生徒達にとつて大変貴重な体験であります。今後とも地域に貢献するための第一歩となるように期待しております。

また、部活動では、各部活とも熱心に活動しておりますが、特に、弓道部が関東大会出場、馬術部が全国大会出場し、さらには国体でも優秀な成績を収めることが出来ました。江戸崎総合高校での様々な取り組みを通して生徒一人一人の自信につながる教育活動を今後も引き続き行っていきたいと思っております。

今後とも、会員の皆様方にはご支援・ご協力を宜しくお願いいたします。

私の高校時代

副会長 松田 由雄
江戸崎西高等学校 (昭和48年度卒)

私は西高が出来て、初めての入学生でしたので、何もないところからのスタートでした。入学式は廊下で行い、グランドも体育館もなく、今もある大森高校のグランドまでマラソンをして移動し体育の授業を行いました。卒業式には体育館は何とか間に合せて挙行することが出来ました。

先輩も居なく、一年生だけでしたので、のんびりしたものでした。部活動は逆に物足りない人もいたと思います。私は高校に入学する時、何もせずのんびりしようと思いましたが、三年間、部活動も勉強もバイトさえもせず、一日十時間以上の睡眠、そんな生活を見事成し遂げたのでした。

そんな私でも、読書はしていました。SFマガジンが中心で、何しろ「火の鳥」ですから、友人のツテを頼って借りて読んでいた時代で、環境は良くありませんでした。

今の異世界ブームとは隔世の感があり、マイナーな存在で同好の士で細々とやっていた。やっと、その当時の人達が活躍し花が開いた感で嬉しい限りです。

当時、友人が「家畜人ヤプー」を貸してくれました。その時、私は「ガリバー旅行記」を読んでいましたので、ヤプーなる言葉にムムツと思

い、読み始めるとその内容に更に驚きました。また、半村良の「産霊山(むすびのやま)秘録」も紹介され、これにも驚かせられました。

いまは、インターネットで何でも調べられ、手に入れることが出来ます。江戸崎は田舎ですが、昔と比べたら東京への距離は近くなりました。

私の高校時代は、本当の田舎者で行動範囲は狭く、何もしてませんでした。でも、今の高校生には、やる気と根性があれば何でも出来る可能性が沢山あります。お得な割引切符を利用して夏休みに旅に出るのもいいでしょうし、コンサートやお芝居を見に行ったりするのもいいでしょう。

とにかくいろいろと行動してみてください。

同窓会では年に一度の総会が始まる前に、講演会を催しています。参加は自由です。

今までに、卒業生の女性浪曲師の方や、カスミの社長(西高の卒業生)などに講演をお願いしてきました。

この「古城」も総合高校のホームページから見られる様にもなっています。友人諸氏にこのことを伝えて頂き、同窓会の活動にご協力いただければ幸いです。

最近あったこと

参 与 木村 謙一
江戸崎高等学校 (昭和17年12月卒)

私が在籍(在職)していた当時の先生方や同僚の皆さんの多くは鬼籍に入ってしまった。

私自身も現在は老人介護施設にお世話になってます。

最近、施設に江戸崎総合高校の女子生徒二名の方が介護施設実習に来ておりました。言葉を交わしましたが、遠い昔を思い出し、懐かしさを覚えた次第です。

私は、現在、自分史を執筆しております。ここでその話は長くなりますので、最近、私が経験したことについて記してみます。

令和に改元後の六月十日、かつての同僚であった松岡斉先生が仲代達也の件で訪ねて来ました。聞くところによると、仲代達也の父親が河内町生板の出身で江戸崎高校(旧制農学校)の生徒であったとのこと。今回、NHKのファミリーヒストリーという番組で取り上げるため、関連資料

を捜しているのとのこと
で、協力を要請されました。
卒業名簿で氏名が確認され、
六月十三日、江戸崎総合高校
に於いて収録されました。

テレビ放映された時、私の
出番は僅か一分程度でした
が、多くに人達から「番組を
見たよ」とか、「ビデオに録
画した」とか連絡がありまし
た。後日、関連会社から番組
の模様を録画したディスクが
送られてきました。

ちなみに、私自身のテレビ
出演は二回目で、一回目は江
戸崎高校在職中の昭和六十四
年の産業文化祭で、フジテレ
ビの「なっとくデータマップ」
という番組で「ダービー優勝
馬と江戸崎」というテーマで
した。残念ながらそれを録画
したデータは紛失しました。
長い人生、思い出も沢山あ
りますが、最近経験したこと
について、記してみました。

卒業六十五年 八十四歳の同窓会



水戸支部長
高木 昂
江戸崎高等学校
(昭和28年度卒)

昭和二十八年度卒業普通科
四回生の同窓会は十五回目、

令和元年十月三十一日(木)
十一月一日(金)、水戸市
郊外鉾田市箕輪「いこいの村
潤沼」に十二人が集い、一夜
を過ごしたことを報告する。

平成から令和となり新しい
時代の到来、三年前、国民宿
舎「鵜の岬」の十七人と誓い
合った『再会』の約束を果た
すために、幹事三人相寄って
会場などを決め、開催通知を
発した結果、出席十二人(欠
席三十三人、死去三十五人、
不明六人、無回答八人)で、
最遠方は兵庫県芦屋市から、
また、一人では参加が難しい
と家族付き添いの参加者もい
て、出席者少ないながら、同
窓会の意義が高められたと皆
が受け止め、まさに、「楽し
からずや」の会となった。

会の始めに、物故された
三十五人の冥福を祈り黙祷



後、幹事代表の竹内敏君が先
般の台風・集中豪雨被害者
にお見舞いの言葉、参加した皆
に礼を述べ、今宵は愉快に過
ごそうと挨拶、女性陣の発声
で乾杯、懇談に入った。

「日帰りで行ってみたい
天国へ」など老境を詠んだ川
柳、ゴルフ・囲碁・将棋・麻
雀などビッシリ予定を書き込
んだカレンダー、「頭の体操
をしてみませんか」と「物忘
れ」「一病息災・無病息災」
などのダジャレ句を詠み上げ
たり、さらに孫・曾孫何人
か、奥様を亡くし独り身の悲
哀など多彩にわたる話題が飛
び交った。その後、会場をカ
ラオケスタジオに移し、最後
に「高校三年生」を合唱して、
老青年たちの夜は終わった。
窓から眺めた朝の潤沼、薄
モヤがたなびき、水鳥が泳

ぎ、一帯はラムサール条約に
登録されている景勝地。昨日
の真つ赤な夕日、水面の水鳥、
江戸崎の榎ヶ浦(干拓前)に
酷似して、心むむ景観であっ
た。

朝食時、我が母校が平成
十七年に「江戸崎総合高等学
校」となり、充実した活動ぶ
りを記述した資料を配付し、
母校への思いを新たにした。

第十六回同窓会については
「三年後どうなるかわからな
い、その時になったら話し合
おう、それまで元気に!!」と
いうことで帰途についた。

参加者(敬称略順不同)
山口彩子、石川良子、福島数
江、根本敬、橋本吉也、高城
亨、黒田暉朗、成毛貞夫、古
澤義正(家族付添い)

以下幹事

竹内敏、平野信、高木昂

遠回りで得た 思い出



中村 茂行
江戸崎高等学校
(昭和43年度卒)

江戸崎高等学校を卒業して
丁度半世紀が過ぎました。
入学して新体育館落成記念
イベントで『NHKのど自慢』

が行われ、先生や生徒、そし
て町の歌自慢の人達が出場、
緊張していた様子が今でも目
に浮かびます。その時のゲス
トは美川憲一さんで、身近で
見た印象はとても女性っぽ
かったでした。部活は、陸上
部に入部しました。先輩、同
期に恵まれ充実した日々を過
ごすことが出来て今でも感謝
しています。短距離を希望し
ましたが、長距離ランナーと
して夏休みまで頑張りました。
しかし、どうしても得意な種
目で挑戦しなかったため、短
距離を懇願したところ二百
メートルと四百メートルを選
択出来ました。タイムも順調
に伸び、大会記録や県の年度
ベストタイムを残すことが出
来ました。振り返ると、夏ま
での長距離の練習が基礎と
なって、短距離での記録に繋
がったのだと信じています。
卒業後、当時の国立競技場
で全国青年大会の競技に参加
し、スウェーデンリレーで第
二位となったのは良い思い出
となっています。
今年より江戸崎総合高校の
用務員として勤めることにな
りました。半世紀ぶりの母校
で、先任者が築いた素晴らし
い前庭の維持を出来るよう務
めたいと思います。

江総生の活躍

馬術部顧問としての六年間

馬術部顧問

倉田 健司

私が江戸崎総合高校に赴任して六年目になり、本校馬術部の顧問も六年目となりました。この間、多くの大会に出場し、他の高校・部活動ではすることができない経験を沢山させて頂きました。

中でも、四度の全日本高等学校馬術競技大会（インターハイ団体）出場と、五度の全日本高等学校馬術選手権大会（インターハイ個人）出場は貴重な経験となりました。

特に選手権の方では、来年開かれる東京オリンピックの影響で、長年会場となっていた東京・世田谷の馬事公苑から、北海道・苫小牧のノーザンホースパークに会場が移り、選手派遣の折には同窓会からも多大なご支援を頂きました。お陰様で北海道に選手権会場が移ってから三年連続で本校の生徒が出場し、上位入賞を果たしました。

更に、今年十月に水戸農業



関東選手権

高校で開かれた、いきいきいばらきゅめ国体では、本校の尾野綺乃選手が少年の二段階障害飛越競技で優勝し、本県馬術競技優勝と、天皇杯獲得に大きく貢献しました。

私自身、その瞬間を観覧席から観戦していましたが、とても落ち着いていて、堂々とした安定感のある走行だったことを覚えています。走行が終わった時点では暫定首位でしたが、観覧席では誰もが尾野選手の優勝を確信しているようでした。本校馬術部の歴

史に残る、輝かしい成績であると思います。



全日本競技会

一方、今年度はこれまで乗馬の経験が全くない生徒を部員として迎えるという経験もしました。本校馬術部はその性質から経験者しか入部していなかったのですが、馬に携わる仕事に就きたいという進路希望があることから、初心者での入部を迎えました。将来、彼らが練習を積み、地域の産業に貢献していけることを期待しております。

本校の馬術部は校内に馬匹はおらず、馬場も厩舎もありません。練習はJRA美浦トレーニングセンター内の乗馬苑か、近隣の乗馬クラブで行われています。本校馬術部の

活動にはこうした外部の指導者の協力が欠かせません。

また、試合の際には馬匹の借用や輸送などでも外部の方々にお世話になっております。

特に、本校卒業生がコーチを務めるヨシザワライディングファームには、普段の練習から試合時の指導などで、非常に大きな協力を賜っております。生徒たちには普段から周囲の方々のお力添えがあつてこそその活動であるということを、折に触れて伝えております。

私自身には乗馬の経験は全くなく、馬術競技についての知識や技能もありません。

しかし、6年間馬術部顧問を務め、練習や試合を見ながら、少しずつ馬術競技の面白さや難しさが分かってきました。

言葉の通じない生き物とコミュニケーションをとって競技をすることを、よく「人馬一体」と言いますが、この言葉の実現は本当に難しいです。馬の些細な気紛れから勝負か決してしまう厳しい場面も何度も目の当たりにしました。

しかし、そういった場面でも敗戦の理由を馬のせいとすることは馬術競技の意義の否



茨城国体

定に繋がると考え、生徒たちには「馬と一緒に競技をする以上『絶対』ということはない。だから、普段から練習には謙虚な姿勢で取り組み、自分の技術向上に努めてほしい」と伝えております。

そして、自分の思った通りに馬を乗りこなせたとき、鞍上から生徒が見せる表情に、馬術競技の楽しさを感じてきました。

本校馬術部は、未だイン
ターハイでは団体戦・個人戦
共に日本一が果たせておりま
せん。日本一になったことを
お知らせができるよう、選手
と共に励んで参りますので、
同窓会の皆様には、今後とも
相変わらずのご支援・ご声援
を宜しくお願い致します。

グリーンテクノ系列 の活動について

農業クラブ顧問
神生 康平

本校グリーンテクノ系列は栽培コースと食品コースに分かれ、活動をしております。また、全国の農業高校生が加入している農業クラブという組織でも様々な活動を行っています。

今年度のグリーンテクノ系列の活動を紹介します。

◇農業クラブ全国大会◇

十月二十二、二十三、二十四日に宮城県、山形県、福島県の三県で開催された第七十回農業クラブ全国大会南東北大会において、クラブ員代表者会議と農業鑑定競技(分野「園芸」・分野「食品」)に参加・出場してきました。

クラブ員代表者会議とは、全国の農業高校の農業クラブ役員が集まり、農業クラブ活動をより活発に行うため、農業の今後の課題についての話し合いなどを行うものです。

農業鑑定競技とは、各分野の農業に関する問題を解き、その正答率を競う競技です。

代表者会議は、本校農業クラブ会長の砂川大丸君(三年四組)が参加し、全国の農業

クラブ員と活発に意見交換をして、農業クラブ活動に関する理解を深めていました。

農業鑑定競技では、分野「園芸」に木内歩武君(二年四組)、分野「食品」に谷奥星陽君(三年四組)が出場。

残念ながら入賞には届きませんでした。日頃の勉強の成果を発揮するために、全力で頑張りました。

来年度は、入賞できるように頑張りたいと思います。



◇茨城国体デザイン飾花◇

九月二十六日に「いきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会」のメイン会場である笠松運動公園に、本校グリーンテクノ系列3年次生の草花専攻生が作成したデザイン飾花を設置しました。

テーマは今大会マスコットキャラクターのいばラッキーです。この活動は前年度に試



作から行い、一年以上を費やした大きなプロジェクトになりました。こういった形で国体に携わることができ、教員・生徒ともに貴重な経験をすることができました。

今後も様々な方々と共同で活動ができるように努めていきたいと思っています。



◇じゃがいも掘り体験◇

七月五日に、2年次の野菜の授業の中で、地域の園児たちを本校農場へ招き、じゃがいも掘り体験を行いました。

普段は農業を教えてもらう立場の生徒たちも、この日は



園児たちの先生になって、優しく教えてあげていました。園児と関わる生徒たちがとても頼もしく思えました。

園児たちもとても可愛らしく、高校生のお兄さんお姉さんと一緒にじゃがいも掘り体験をしたこの時間が少しでも園児たちの思い出になってくれたらと感じました。

生徒達も成長できたのではないかと思います。



◇稲敷市文化祭◇

十一月三日に稲敷市の新利根総合運動公園で開催された「稲敷市文化祭」に出店しました。ここでは、本校生徒が作ったシフォンケーキを販売しました。購入してくださる参加者の方々と交流を深めながら、見事完売となりました。



◇おわりに◇

今後も積極的に活動をしていきたいと思っておりますので、各種イベントや活動の中で本校生徒を見かけた際には、ぜひお声をかけていただければと思います。

グリーンテクノ系列の活動を通し、同窓会の皆様とお会いできることを楽しみにしております。

校内だより

今年度の学校行事より 特別活動部長

倉田 健司

今年度も生徒会事業として数々の学校行事を行なって参りました。特に、クラスマッチ、野球応援、江陵祭（文化祭）の3つは、全校生徒が参加して行なわれるもので、毎年様々な生徒の活き活きとした姿が見られます。

6月に行なわれたクラスマッチでは、2日間に渡ってサッカー、キックベース、バドミントン、バレーボール、大縄跳びの各競技を行ない、



どの競技でも年次の枠を超えた熱い闘いが見られました。例年3年生が優勢なのです。

が、今年度は1年生・2年生の健闘が目立ったように思います。特に大縄跳びでは素晴らしい成績を収めたクラスもあり、白熱したクラスマッチとなりました。



7月の野球応援では、初戦が開幕戦に当たり、開会式の熱気が冷めやらぬ中で全校応援となりました。玉造工業高校を相手に、投打が噛みあつてのコールド勝ちを収めることができました。

しかし、2回戦は強豪の藤代高校との対戦となり、力及ばず敗退してしまいました。応援団も約2か月に渡って活動し、スタンドを大いに盛り上げてくれました。最後の一球が決まるその瞬間まで、力を振り絞って声援を送って

た応援団長の姿が、とても印象に残っています。

十月の江陵祭（文化祭）では二日間に渡って様々な企画が行なわれました。今年度は「夢我夢中」をテーマにし、夢のような江陵祭となるよう様々な工夫をしました。

初日の校内発表では各クラスが趣向を凝らしたステージ発表を披露しました。一般公開となった2日目には、模擬店や教室での展示企画、有志によるステージ発表、モニュメント展示、農産物販売などが行なわれ、来場頂いた多数のお客様を楽しませることができました。

生徒たちは活き活きとした表情で江陵祭に参加して様々な活躍を見せてくれました。歌が得意だったり、料理が上手だったり、気遣いが濃やか



だったりと、授業だけでは見られない個性を知ることができた貴重な機会でした。

近年、これらの行事は生徒たちによる主体的な運営が中心になってきています。どうしたら参加する全員が楽しくなるか、嫌な思いをする人がいなくなるか、ということを生徒たちが自ら考え、実現させようとしています。

これからも、こうした生徒主体の行事運営のために、教職員一同努めて参ります。同窓会の皆様方にも、今後とも生徒たちを温かく見守って頂けますよう、お願い申し上げます。

かけがえない生徒達のために 生徒指導部長

辻 尚宏

今年度より生徒指導主事の大役を仰せつかりました。教員人生十年目を迎えた若輩者ですが、諸先輩方、保護者や地域の皆様方、そして同窓会の方々のご指導ご鞭撻をいただきながら、試行錯誤の日々を送っております。

山本有三『路傍の石』の中で、こんな一節があります。「たったひとりでしかない自分を、たった一度しかない人生を、本当に生かさなかつたら、

人間、生まれてきたかいがないじゃないか。」

我々は、誰もがかけがえない存在であり、その人生はその人間にしか歩めないということを忘れがちです。その大切さに気付き、一度しかない人生をより豊かに、より幸せに送る為に、生徒一人一人に成長してほしいと切に願っております。そして、願うとともに、厳しくも生徒への愛情や熱意を伝え続けて参りたいと思います。

前身の江戸崎高等学校から数えると、百年以上の歴史を誇る本校の教員として、本校の生徒一人一人に向き合える私自身も、人生のかけがいのなさを感じる一人です。本校で学ぶ生徒それぞれが、自らの人生を切り拓き続けることができるよう、精一杯職責を全うしたいと考えます。今後とも、ご指導ご鞭撻の程、何卒よろしくお願い致します。

ラグビーが教えてくれたこと 進路指導部長

山本 正光

日本で開催されたラグビーワールドカップが幕を閉じた。さんざんメディアにも取り上げられ、日本チームの健闘を讃えるだけでなく、ホス

ト国としての受け入れ体制や各キャンパス地における歓迎ぶり等、世界中から高い評価を受けたことも話題になった。今までラグビーの試合をまともに見ることもなかったのに、開幕からたった一ヶ月でどつぷりとラグビーにはまっていた日本人もかなり多いはずだ。これだけの成功を予測していた人がどれだけいただろうか。かく言う私も「にわかファン」の一人である。自分はずっとサッカー観戦が好きだったが、正直ラグビーはサッカーにはない、今まで味わったことのないタイプの感動をもたらしてくれた。

もちろん、日本がアイルランドやスコットランドという強豪国を次々と倒していった事実自体、感動の要因の一つではあるが、それよりも何よりもテレビの画面に映し出される選手たちの姿からにじみ出てくるオーラのようなものに心を打たれたのだった。そのオーラのようなものが我々に訴えかけてくる何か。こども我々を熱くしてくれるもの。つていったい何なのだろう。かー思うにそれは、自分が普段の生活の中で忘れてしまいがちな大切なものなのかもしれない。ボールを前方に出せないもどかしさの中で、敵のプレッシャーをはねのけながら、後方から波状的にパスをもらいに行き、守りの薄い陣地から攻撃を仕掛けていく頭脳的なチームプレー。ワントライを目指して、スクラムを組み地道に体を張って敵陣にジワジワと押し込んでいく選手たち。激しいチャージで体がボロボロになりながらも、一瞬も気を緩めることができない状況の中で、果敢にタックルに挑む選手たち。あのような激しい当たりがある中でいつ喧嘩が起きてもおかしくない状況で、無秩序な状態にならずにルールを遵守している選手たちの高潔さ。ふだん生活していく中で出くわすだろう辛いことや苦しいこと、泥臭いこと、地道に続けることなど、得てして無意識に避けてしまいがちだが、それらをまさに実行している姿を目の当たりにして、心が洗われる思いがした。単なるスポーツの一つに過ぎないが、現代の便利で快適な生活にどつぷり浸かってしまっている我々に教えてくれることは計り知れない。



二〇一九年度 進路状況

主な進学先	主な就職先
明治大学	陸上自衛隊
開智国際大学	江戸崎カントリー倶楽部
流通経済大学	ネスレ日本
明海大学	SHOEI 茨城工場
つくば国際短期大学	雪印メグミルク
県立土浦産業技術専門学校	キャンノンモールド
茨城県立農業大学校	介護施設水郷荘
日本自動車大学校	日本中央競馬会
筑波研究学園専門学校	日本食研
宮本看護専門学校	ヒルトンホテル成田
アール医療福祉専門学校	クボタ
東京医科大学霞ヶ浦看護専門学校	東洋エアゾール
ベルボック美容専門学校	茨城日産
茨城理容美容専門学校	コメリ
横浜ミュージックスクール	トヨタカローラ南茨城
文化服装学院	阿見ゴルフクラブ
つくば栄養医療調理製菓専門学校	原製作所
パリ総合美容専門学校	ランドロームジャパン
エコール辻東京日本料理マスタートレージ	東洋シャッター
大宮スイーツ&カフェ専門学校	石川商事
カフエ専門学校	竜ヶ崎フードワークス
アイト専門学校	江戸崎共栄工業
東京スクールオブミュージック&ダンス専門学校	介護施設すだちの里
つくばビジネスカレッジ専門学校	他三十二社

(二〇一九年十二月十日現在)

年次だより

この一年を振り返って
一年次主任
由波 俊幸

満開の桜のもとで行われた、平成最後の入学式から、早いもので一年が過ぎようとしています。

この間、生徒たちは五回の定期検査をはじめ、全員受験の漢字検定、野球全校応援、そして部活動における各種大会等々さまざまな活動を体験してきました。なかでも初めて経験したクラスマッチや江陵祭では、一年次生らしい爽やかさや創意工夫を活かして健闘し、上級生に負けじと上位入賞を果たした学級が複数あり、記憶に残る体験となったようです。

ところで、本年次では、「時と場をわきまえて、自ら考え、自ら責任を持って行動できる生徒」を目指す生徒像に掲げ、生徒自身が、自ら学ぶ姿勢を身につけるとともに、総合学科の特性を活かし、各自が希望する進路に応じて目標を実現できるよう、職員一同、取り組みでおります。基礎固めとなる今年度は特に、①挨拶、

②傾聴、③整頓、④自学の四点を集中事項として、指導を進めてきました。

現一年次の生徒たちも、いよいよ四月からは、自身の関心と卒業後の進路を視野に、新たに系列別の学級編制をむかえます。この系列選択にあたっては、毎週二時間の「産業社会と人間」の授業を中心に、進路意識や職業観の醸成を目的とした各種ガイダンス、さまざまな職種から講師を招いての講演会、系列別バス見学会等とおして、生徒が自分自身の進路に向き合い、思考を深める機会を設定しました。その上で、各学級担任を中心に生徒との面談を重ねながら、検討を重ねてきました。

最後に、生徒個々の学習習慣・生活習慣の維持向上のためには、ご家庭はもとより、同窓会や地域の皆様と学校との連携に立った継続的な指導が不可欠なのは言うまでもありません。同窓会の皆様におかれましては、今後とも本年次の方針にご理解を賜るとともに、引き続きご指導・ご協力をお願い申し上げます。

二年次として

飯塚 親弘

今年度より五つの系列に分かれ、それぞれ特色のある授業が展開されてきました。

生徒の皆さんは日々の学習活動や部活動に意欲的に取り組み、クラスマッチや文化祭などの学校行事には、クラスの仲間と互いに協力し、積極的に参加しました。

特に今年度は、高校生活最大の行事である沖縄への修学旅行がありました。

出発前に首里城の焼失という大変残念な出来事がありました。にもかかわらず、綿密に計画し、沖縄の歴史や文化・自然に触れ、最高に思い出深い修学旅行になりました。特に、民泊は好評のようでした。これらの活動や経験を通して生徒の皆さんは確実に成長することが出来ました。

二年次も来年はいよいよ最終学年です。進路の実現に向け、一層の努力を期待します。我々職員も生徒に対し、働くことの意義を十分に理解させ、社会に貢献できる人材の育成に全力で取り組んでいきたいと考えています。

最後に、同窓会の皆様の変

進化そして飛躍

寺口 慎吾

この原稿を書くにあたって過去を振り返り色々と思いついて、懐かしく微笑ましく思う一時をいただきました。

思い起こせば二年と数ヶ月前、真新しい制服を身につけ、緊張した面持ちで登校してきたあの子達が、色々な意味で逞しく成長したなど、改めて実感いたします。

三年次の職員は、日々「退化」ではなく、「進化」するよう生徒達に訴えてきました。が、卒業までもう少し時間が残されていますので、卒業生の皆さんに恥じぬような江総生となるべく、そして卒業後も真つ当に逞しく生きていくよう、「進化」の手助けをしていきたいと思っています。

現在、多くの三年次生が、卒業後の進路を決定し、就職や進学準備を進めているところですが、同時に、残りわずかな高校生活を一杯楽しんで、努力して、思い出を残してもらえればと願っております。

令和二年 事業計画(案)	
事業名	実施予定 時
校内幹事会	随時
本部役員会 (本年度事業について)	七月中旬
本部役員会	十一月中旬
本部役員会 (会報誌「古城」について)	十月中旬
会報誌「古城」編集委員会	一月中旬
本部役員会 (代議員総会について)	二月上旬
同窓会入会式	二月下旬
卒業記念品贈呈	二月下旬
会報誌「古城」 第四十三号発行	二月下旬
本部役員会 (代議員総会について)	三月上旬
本部役員会・会計監査	三月中旬
第百十五回 同窓会代議員総会	三月下旬

支部長

水戸	土浦	竜ヶ崎	八原	長戸	金江津	源清田	長竿	生板	浮島	古渡	阿波	十余島	伊崎	大須賀	太田	柴崎	牛久	阿見	舟島	朝日	君原	安中	木原	鳩崎	沼里	高田	君賀	江戸崎
高木	中澤	岩田	湯原	小川	高橋	佐川	諸岡	荒井	宮本	内埜	秋本	山中	根本	塚本	玉造	有坂	飯田	野口	平岡	飯野	館野	平野	大橋	南房	岡本	朝日向	清水	
	得	邦		尚		洋	周	孝	和	新	精		一	憲		勝	千	俊		良	輝	勝	幸	孝	博	成	克	
昂	二	夫	坦	敏	稔	司	示	司	昭	也	一	誠	也	男	榮	芳	春	一	博	治	男	雄	雄	一	文	美	夫	明

本部役員

会長	山岡恒夫
副会長	徳田好廣
〃	根本弘一
〃	松田由雄
〃	松本博志
〃	内本知美
〃	藤田和文
監事	中島誠一
顧問	岡田武守
〃	岡見繁夫
〃	飯塚育男
〃	大鳥居良行
事務局	鳥羽勝

編集後記

平成から「令和」と時代の変わり目に立ち会った二〇一九年、皆さんはどのように感じにられたでしょうか。

その令和最初の年に、茨城県では国体が催されました。

江戸崎総合高校の生徒達も大活躍した国体となりました。

そして、今年は東京オリンピックが開催されます。

新しい時代となり、情報化・スピード化がより一層求められる昨今、人の繋がりが希薄になっていく感じがします。それでも母校で培った温かい繋がりはだけはいつまでも大切にしたいものです。

⑤